

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: <http://www.k-boat.co.jp> E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

今年のワールド・ローイング・フォーラム(世界コーチ会議)はイスタンブールで開催されました。この会議のメインテーマは「若者たちをいかにローイングに引き込むか」だったそうです。ローイングは歴史ある競技といっても100年あまり。伝統のなかにも新しい価値を加えていかないことには世間や若者たちの関心と呼べないのは確実です。身近な例では、ドラゴン・ボートが大変な勢いで増加しており、ここに何か我々へのヒントがあるかもしれません。造艇の立場からも今までに増して真剣な模索をし、新しい提案をしていくつもりであります。師走となりました。ご多忙の中どうかご自愛を、そして良き新年をお迎えください。【古川】

桑野造船 会社目標

未来に向かって進化

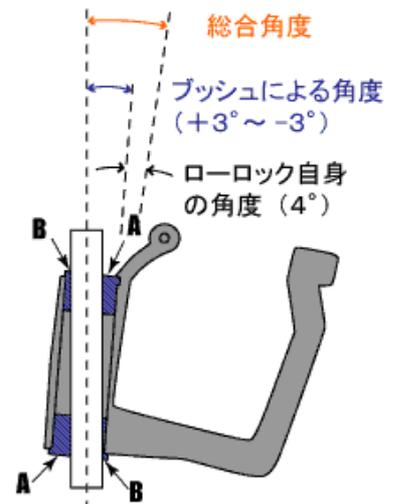
- お客様にとって役に立つ桑野になるために -
- * ヨーロッパ艇を超える(性能・デザイン・価格)
- * 新分野へ挑戦(新技術開発・ニューローイング開拓)
- * 情報の共有(顧客との共有・社内共有で失敗に学ぶ)

ローロックの調節による角度調整 (リクエストにお応えします)

ピンを軸として回転するので、ピンの角度が外傾・前傾とも0度であれば、ストロークの全範囲(キャッチ~ミドル~フィニッシュ)で一定のカバー角がローロックの調節により得られます。

1. ローロックの構造において、もともと4度の固有角を付けて製造している。
2. プッシュにより、+3度~-3度まで角度を調節できるため、ローロックの固有角と合わせて、結果的に+1度~+7度までの範囲で調節可能となる。
3. 右の図で、A側のプッシュ番号が総合角度になると考えれば便利。
4. ピンが傾いていると、ローロックの角度にピンの傾き角度が加算される。それは、ストローク位置(オール振り角)によって、その影響度が変化するので、ピンの傾きによるカバー角の調節は注意を要する。基本は外傾・前傾とも0度にする事が多い。

ピン角度	ローロック自身の角度	プッシュ			総合角度
		A側	B側	付与角	
0度	4度	1	7	-3度	1度
		2	6	-2度	2度
		3	5	-1度	3度
		4	4	0度	4度
		5	3	+1度	5度
		6	2	+2度	6度
		7	1	+3度	7度



ローロックの角度はこの他にリガーや艇の剛性が影響を及ぼします。詳しくはHPをご覧ください。

ボート製造における安全対策 (これらを説明したDVDをご希望でしたらお送りします。)

- ボート構造における安全対策の例をご紹介します。水温の低い冬季の落水は極めて危険ですのでご注意ください。
- 艇体設計** : 浸水、大周期波、衝突により、艇体に過大な力が掛かっても耐えられるように高強度の炭素繊維を、また艇体が折れた最悪時でも分離しないように靱性のあるアラミド繊維を使用している。
 - 浮力の確保** : シート下部を独立空間として、浸水時の分散浮力の確保、艇の加減速を利用した自動排水機能、キャンパス内に発泡体の挿入等の対策がある。なお、未対策艇を対象にスプレー式発泡缶を提供しています。
 - オール** : 衝突時に相手やコースパイを傷つける恐れがあるので、ブレード厚は 4mm 以上とする規定がある。また、転覆時にはオールは徐々に浸水するので、浮力体として期待はできない。
 - その他** : ローイング専用救命具、初心者用バランスフロートを準備している。トップボールの未装着は重大なルール違反となる。また、波よけ部等、艇形状の突起を無くす工夫をしている。

小径オール モニターセール実施中! <限定20セット>

シャフト径を30%細くした小径オール。今回、20セットに限り、特別価格でご提供します。お申し込みは弊社までお願いいたします。
 <先着順> 正規価格 ¥120,000 **モニター価格 ¥55,000** (税・送料込 オールケース、1年間損害保険付)

お知らせ

- * メンテ講習会おかげさまで満員となりました。遠隔地でまとまった人数が集まれる場合は講師派遣も検討しますのでご相談下さい。
- * 来年1月から新しいホームページを開設いたします。お客様へのサービス向上にお役に立てればと考えます。アドレスは同じです。
- * 各地のマシンローイング大会に新商品や艇の製造工程紹介等のブースをだします。どうぞ覗いて何なりと担当に声をおかけください。<出店予定> 12月18日:北信越大会 1月22日:近畿大会
- * Boat Times vol.25のグリップ太さの単位はmmではなくcmでした。ここに訂正させていただきます。

BOAT TIMESの配信停止をご希望される方は、お手数ですがFAX (077-573-8002)又はE-Mail(kuwano@k-boat.co.jp)で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート関係者へお渡しをお願いいたします。